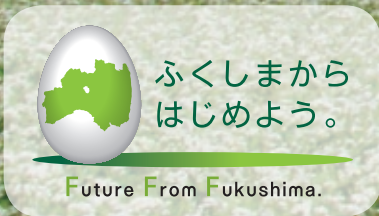




林業福島

No. **599**

題字 福島県知事 佐藤雄平



7

2014

かんしゅう ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 運搬



～前向きに行動する～

福島県木材協同組合連合会
会長 朝田 宗弘

五月末の通常総会により再度会長に選任されました。これからも木材業界の発展のため微力を尽くす所存です。

さて、東日本大震災とその後の東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故は、本県の林業、木材産業に依然として大きな影響を及ぼしております。

まず、安全な木製品の出荷に関しては、県木連では平成二十四年七月に表面放射線量の業界自主基準値一、〇〇〇cpmを設定し、組合員における継続した測定と、県による定期的な測定と公表を継続してきたことから、現在では福島県産木材に対する拒否反応は薄らいできているものと感じられます。さらに、一時は七万ト以上も滞留した樹皮(バーク)については、業界関係者の努力により、毎月の発生量より多くのバークを処理することが可能となり、少しずつ滞留量が減少してきております。

しかし、これら放射能に関する課題は、マンガ「美味しんぼ」に見られるように、木材の風評被害としていつ再燃するか先行き不透明なものがあり、対処すべき方策を常に議論・検討しておく必要があるものと考えます。

一方、県内の木材産業を巡る動きは、平成二五年七月に開始した国の「木材利用ポイント制度」が今年の九月三〇日着工分まで延長し、県の「森と住まいのエコポイント事業」が平成二六年度も継続延長されることとなり、消費税で幾分落ち込んだ木造住宅の建築回復を期待したいところです。さらには、震災復興に向け市町村庁舎等の公共施設の新築・改築も始まっていることから、木材需要は堅調に推移していくものと考えております。

この様な中、浪江町の住民はいまだ帰還の目途は立っておりませんが、私自身は少しずつ事業再開に向け工場の除染や敷地内残材の整理等を進めるなど、前向き行動を開始したところです。

今後、福島県の林業・木材業界が生き残っていくためには、業界一丸となって多くの課題に対処していくことと、国・県等行政の更なるご支援をお願いするものであります。

《も く じ》

とびら	森と生きる
～前向きに行動する～	「森の名手・名人について」…………… 7
福島県木材協同組合連合会	普及指導員通信…………… 8
会長 朝田 宗弘…………… 1	森林管理署メモ…………… 9
全国植樹祭…………… 2～3	◆ CLTの現状と課題、
グリーンウェイブ2014参加	今後の展望について…………… 10
植樹祭を開催…………… 4	公社だより…………… 11
林業研究センターだより…………… 5～6	木材市況・ふくしま東西南北…………… 12
	はなしのひろば…………… 13

「第六九回全国植樹祭」

福島県開催に向けて、申出書提出

(公社)福島県森林・林業・緑化協会



五月二十九日(木)、当協会の齋藤卓夫副会長、福島県農林水産部の水戸典明次長ら(四名)が公益社団法人国土緑化推進機構(東京都)を訪問し、谷福丸副理事長に平成三十年の「第六九回全国植樹祭」開催の申出書を提出しました。

た「新生ふくしま」を基本目標とする福島県総合計画「ふくしま新生プラン」を策定し、森林の復興・再生や県民参加による森林づくりに取り組んでいるところです。特に、被災した海岸防災林については、林帯幅を拡げて防災機能を高

めた整備を進めております。全国植樹祭は、震災前までの森林と人との絆を取り戻し、緑豊かなふるさとの再生を進めるシンボルとなります。さらに、全国植樹祭の開催は、大きな被害を受けた本県にとって、復

興に力強く歩み続ける県民の姿と国内外からの支援への感謝の気持ちを広く発信する絶好の機会になるとともに、豊かな森林を次世代に引き継ぐため、大変意義深いものと考えております。なお、本県では、昭和四五年五月に磐梯山麓天鏡閣で第二一回全国植樹祭が天皇、皇后両陛下をお迎えして行われ、若い林業後継者を主役とした企画は、新鮮で活気に満ち、二万人の参加者一人一人に深い感銘を与えました。

福島県は、平成十七年十一月に「森林文化のくに・ふくしま県民憲章」を制定し、様々な恵みをもたらす森林を守り育て将来の世代に引き継ぐ取り組みを進めるとともに、県民一人一人が参画する森林づくりを推進してきました。しかしながら、平成二十三年三月の東日本大震災と原子力発電所事故により、森林を取り巻く環境が大きく変化し、森林と人との関わりが薄れつつあります。このため、本県においては、夢・希望・笑顔に満ち



左から：谷福丸副理事長(国土緑推)、齋藤卓夫副会長(当協会)



第21回全国植樹祭を掲載した「林業福島」No81号

「第六五回 全国植樹祭」開催される



（公社）福島県森林・林業・緑化協会

第六五回全国植樹祭が六月一日（日）、新潟県で開催されました。

今年の全国植樹祭のテーマは「未来へつなぐ森の力」復興から創造へ」。中越震災の際に全国からの支援に感謝するとともに、「森の力」を未来へ引き継いでいくため、企業や森林ボランティア、緑の少年団など、多様な県民参加による「にいがた緑の百年物語」木を植える県民運動」の取り組みを更に推進し、新潟らしい森林づくりや緑化活動を全国にアピールするものでした。

式典の冒頭では、東日本大震災復興支援として、東日本大震災により失われた海岸防災林等の再生を支援するため、泉田裕彦新潟県知事から東北三県、岩手県、宮城県、福島県の代表者（福島県は当協会の齋藤卓夫副会長）に新潟県で生産した抵抗性アカマツ「にいがた千年松」の苗木一、〇〇〇本が贈呈されました。「にいがた千年松」とは、新潟県で開発した松くい虫に強い松の名称で、一般のマツに比べ高い抵抗性を持って

おり、マツ枯れ被害林の再生を図るため、被害跡地を中心に植栽を行っています。

式典は、ハイブ長岡（長岡市千秋）からスタートしました。

午前中の式典では、天皇后陛下下によるお手播きがあり、新潟県の自然条件にあった在来の樹種それぞれ二種類、天皇后陛下は、アカマツ（抵抗性）とスギを、皇后陛下は、ケヤキとタムシバをお手播きされました。その後、会場を中越大震災メモリアル拠点施設 川口きぎずな館前広場（長岡市川口中山）に移し、お手播きされました。お手播きでは、「森」の字をかたどり、お手播き同様新潟県の自然条件にあった在来の樹種それぞれ三種類、天皇后陛下はブナ、イタヤカエデ、ホオノキを、皇后陛下はユキツバキ、ヤマボウシ、ウワミズザクラを植樹しました。

川口きぎずな館前広場の他にも、四つの記念植樹会場（長岡市陽光台、小千谷市山本、魚沼市堀之内、十日町市八箇）が設けられ、植樹祭の招待者は、各々の会場で、ブナ、ケヤキ、コナラ、ヤマボウシ、ウワミズザクラ、ナナカマド、クリ、ユキツバキ、アカマツなど四四種類の苗木を植樹しました。

植樹行事以外では、様々な演奏等のアトラクションや表彰式、次回の全国植樹祭開催地の石川県へのリレーセレモニー等が行われました。

一方、サテライト会場（千秋が原ふるさとの森「緑の広場」）（長岡市千

秋）、アオーレ長岡（長岡市大手通）では、県民参加型の展示や催事、物販や飲食、式典の放映等のイベントが開催されました。

先月の五月二十九日（木）、福島県と当協会は「第六九回全国植樹祭」福島県開催の申出書を公益社団法人国土緑化推進機構に提出しましたが、平成三〇年の開催に向けて新潟県同様、福島県における震災・津波・原発事故の被害からの復旧・復興を全国にアピールできるよう、これまで以上に森林づくりに対する機運醸成を図っていくとともに、緑化活動の普及啓発、推進に努めてまいります。



サテライト会場の様子1



サテライト会場の様子2

グリーンウェイブ2014参加

植樹祭を開催

（公社）福島県森林・林業・緑化協会



■グリーンウェイブとは

国連生物多様性条約事務局が、「国際生物多様性の日」（五月二二日）に、世界各地において青少年や子どもたちが午前十時に植樹等を行い、生物多様性について学ぶ活動をよびかけ

ており、これらの活動は、現地時間の違いによって地球上の東から西へと次々と移動していくことから、「緑の波（グリーンウェイブ）」と表現されています。

ちなみに平成二五年度は、七〇〇を超える団体が参加・協力し、約一万八、〇〇〇人が植樹等の活動に参加し、四万本以上の樹木が植樹されました（林野庁HP掲載）。

■グリーンウェイブ参加植樹祭の開催

当協会では、グリーンウェイブに参

加登録し、「※平成二六年度海岸防災林再生等復興支援事業」で五月二二日（木）、いわき市新舞子浜の「釜の台国有林（保安林）」においてグリーンウェイブ参加植樹祭（以下、「植樹祭」という。）を開催しました。

植樹祭には、関東森林管理局磐城森林管理署、いわき青年林業会議所、NPO法人いわきの森に親しむ会会員、うつくしま21森林づくりネットワーク会員、さらには隣県のトチギ環境未来基地会員など約五〇名のボランティアの参加を得て、約一、〇〇〇平方メートルの林地の中で陽当たりがよく植栽条件のよい場所に、クロマツのコンテナ苗五〇〇〇本を植樹しました。

参加者は、東日本大震災で甚大な津波被害を受けた海岸林の十年後、二十年後の復旧の姿を想像しながら、協力し合って一本一本心を込めて、

植付穴に落葉や枝片などの地被物が入らないように、両手で払い除けて植えつけていました。

最後に参加者全員で記念写真撮影後、磐城森林管理署長、いわき青年



林業会議所会長等による植樹記念標柱を設置して植樹祭を終了しました。

■海岸防災林再生等復興支援事業とは

復興庁予算で林野庁が担当してます。東日本大震災で甚大な被害を受けた海岸林を再生する取組みにおいて、地元住民やNPO、企業等が植栽や保育を進める仕組みづくりを支援する事業です。



林業研究センターだより

竹林施業による タケノコの汚染軽減の試み



相馬市日立木の試験地

手前が落葉除去・間伐区、右が落葉除去・間伐・施肥区、左奥が対照区

林業研究センター林産資源部

主任研究員 武井利之

【おつめじ】

平成二三年（二〇一一年）東北地方太平洋沖地震に伴う東京電力福島第一原子力発電所（福島原発）の事故により放射性Cs（Cs-134とCs-137）が広範囲に飛散し、福島県内の農林水産業に甚大な被害をもたらしています。福島県では原発事故後から放射性物質による県内生産物への影響を把握し、また摂取や出荷等をひかえるよう要請するため放射性物質のモニタリング調査を実施しています。この調査において、二〇一一年六月二三日に採取されたタケノコに暫定規制値五〇〇Bg/kgを上回る放射性Csが検出されました。

福島原発事故当時タケノコは地上に現れておらず、フォールアウトした放射性物質のタケノコへの付着が汚染原因となる可能性は低く、他の経路による汚染の可能性が高いと考えられます。タケノコ生産者や、春の味覚として楽しんできた方々等は、早急に事故以前同様にタケノコ採取ができるようになることを望んでいると思われる。そこで、ただちに汚染予防策を検討するため、過去に行われた研究例を専門サイトで検索してみました。しかし、結果は「Notfound」。つまり、タケと放射性物質に関わる研究報告は世界中探してもただの一件も無い、ということなのです。大気中核実験が行われた後、また一九八六年のチェルノブイリ原子力発電所事故の後、環境中の放射

性物質、動植物、きのこ類及び乳製品等の食品に含まれる放射性物質に關して多くの研究報告がなされてきました。にもかかわらず、タケやタケノコに関する研究報告がみあたらないのは、放射性物質の影響を受けた国や地域にタケ類の分布と食習慣が無かったため、また不幸にして研究対象として見逃されてきたためと考えられます。これは、山菜の研究例を検索した場合も同様で、木の芽を食べる習慣は世界中でも珍しく、研究例はほとんどありません。

このように、よりどころとなる研究例も無い状況でタケノコの汚染軽減技術を検討するためには、まったく独自の発想で試験計画を立て、実証していく必要があります。

ここで大きな壁となるのが、タケの生き物としての特徴です。タケは長い地下茎を有し、そこから幾つもの地上桿（タケ成木）やタケノコが発生します。そして、遠くで生育している成木からこの地下茎を通じてタケノコに養分が送られるといった養分のやりとりが機能していることです。従ってタケノコの汚染原因は、タケノコ直下周辺の根から放射性物質が吸収される以外に、離れた位置にある根から吸収された放射性物質が地下茎を介してタケノコに送られる、あるいはフォールアウトによりタケ成木に付着した放射性物質が内

部に侵入し、転流する成分と共に地下茎を介してタケノコに送られる、及びそれら双方が作用している可能性が考えられます。

さらに、調査地は野外の竹林となり、このため厳密な管理ができないことから、タケノコの放射性物質汚染の具体的機序を明らかにするには時間と労力が必要と予想されます。

しかし僅かずつでも前進するため、まずは竹林のどこに放射性Csが存在するか、という分布調査を開始しました。この調査は二〇一一年の夏から二〇一三年の夏まで実施し、放射性Csの分布を細かく明らかにしましたが、一年目の調査が終了した時点で、放射性Csが高濃度で分布しているところがわかりました。それは「落葉層」、「土壌表面」そして「タケ成



図1. タケノコの放射性Cs汚染経路の想像図



図2. 竹林施肥試験地の模式図

〔実験方法〕
 〈試験地〉相馬市日立木地内のモウソウ竹林を試験地としました。
 〈試験区と施肥〉二〇一一年十二月に試験地内に半径一〇メートルの円を設定

木」です。そこで、これを根拠に汚染原因となり得るものを積極的に除去する施肥を実施し、タケノコの放射性Cs汚染が低減できるか否かを試みる試験を開始しました。ここで「土壌表面」の放射性Csを除去するには無汚染土壌との入れ替えが理想ですが、現実的には困難であるため、土壌中の放射性Csと拮抗し根への吸収を抑制することが期待できるカリウムを施肥することとしました。
 なお、本研究の調査及び施肥は相双農林事務所と共同で実施しました。

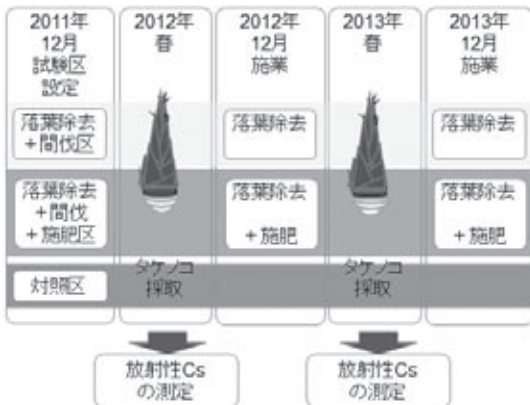


図3. 竹林施肥及び放射性Cs測定工程

し、円の中心から円周方向に深さ二〇センチ、幅一五センチの溝を内角一二〇度で三箇所掘り、タケノコの地下茎を分断して一〇五平方メートルの扇形試験区三つを設定しました。このうちの一区から落葉を除去した後、成立本数三六本／坪となるよう成木を間伐除去して落葉除去・間伐区としました。他の一区は落葉除去・間伐区同様に施肥した後、ケイ酸カリ肥料二〇キログラムを散布して落葉除去・間伐・施肥区としました。残りの一区は施肥しない対照区としました。試験区の模式図を図2に示しました。これらの施肥を実施して一年後の二〇一二年十二月に落葉除去・間伐区にて落葉除去を、落葉除去・間伐・施肥区にて落葉除去と施肥を実施しました。二〇一二年の春と二〇一三年の春、

し、円の中心から円周方向に深さ二〇センチ、幅一五センチの溝を内角一二〇度で三箇所掘り、タケノコの地下茎を分断して一〇五平方メートルの扇形試験区三つを設定しました。このうちの一区から落葉を除去した後、成立本数三六本／坪となるよう成木を間伐除去して落葉除去・間伐区としました。他の一区は落葉除去・間伐区同様に施肥した後、ケイ酸カリ肥料二〇キログラムを散布して落葉除去・間伐・施肥区としました。残りの一区は施肥しない対照区としました。試験区の模式図を図2に示しました。これらの施肥を実施して一年後の二〇一二年十二月に落葉除去・間伐区にて落葉除去を、落葉除去・間伐・施肥区にて落葉除去と施肥を実施しました。二〇一二年の春と二〇一三年の春、

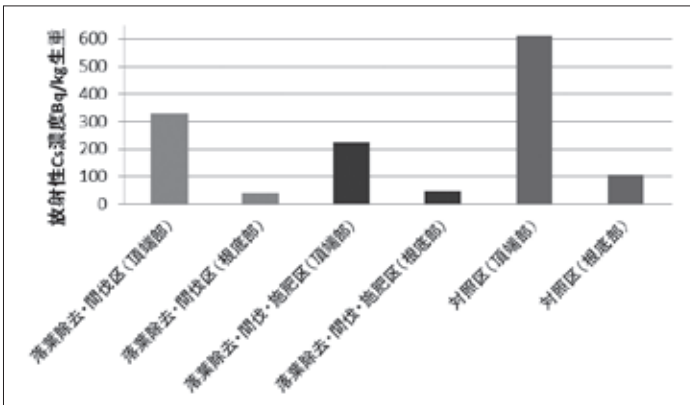


図4. 2013年春に採取したタケノコの放射性Cs濃度の測定例

〔結果および考察〕
 二〇一二年の春に各試験区から収穫したタケノコの放射性Csを測定した結果、いずれの試験区のタケノコも頂端が最も高く、下部ほど低い値を示す特徴は共通していましたが、施肥とタケノコの放射性Cs濃度との関係は不明でした。
 続いて二〇一三年の春に収穫した

各試験区から発生したタケノコを地下茎付近から採取して放射性Csをオートガンマチック・カウンタで測定しました。試験の行程を図3に示しました。

〔おわりに〕
 竹林内の放射性Cs分布調査の結果を根拠にして、施肥によりタケノコの放射性Cs濃度を低下させられるか否か試みた結果、施肥実施二年目のタケノコで対照区より低くなる傾向が認められました。現在のところ、なぜ二年目でなければ効果が表れなかったのか、複数の施肥のうちどの施肥が最も効果的であったのか等について科学的根拠が示せていませんが、竹林にて一般的な施肥を実施するだけでタケノコの汚染を軽減できるという結果が得られました。恐らく、放射性Csの自然減衰と土壌への吸着のためタケノコの放射性Cs濃度は下がっていきませんが、本試験で試みた施肥を実施することで、さらに早く放射性Cs濃度を低下させることができるかと期待されます。

タケノコの放射性Csを測定した結果を図4に示しました。施肥した二つの区から発生したタケノコは対照区より低い値を示し、最も高い値を示す頂端部と比較すると、落葉除去・間伐区は対照区の約二分の一、落葉除去・間伐・施肥区は対照区の約三分の一となりました。
 本試験の結果から、落葉除去、間伐及び施肥によりタケノコの放射性Cs濃度を低下させられる可能性が示されました。

森と住む「森の名手・名人」

福島県森林保全課 主事 佐藤 祐司

○森の名手・名人とは

森や山に関わる、日本の風土や地域生活に染み込んだ生業等のうち、すぐれた技をもってその業を究め、他の技術・技能者、生活者たちの模範となっている達人たちのことを「森の名手・名人」といいます。

「森の名手・名人」の部門には、①森林づくり部門（運搬集材、枝打ち、植え付け、苗木づくり、道づくりなど）、②森の恵み部門（マタギ、養蜂、漆掻き、山菜採り、きのこ栽培など）、③加工部門（木地師、桶・樽職人、宮大工、炭焼きなど）、④森の伝承・文化部門（茅葺き、紙漉き、からむし織り、蔓細工、草木染めなど）の四つがあります。

福島県では、昨年度、加工部門で桶職人の遠藤芳子さん（いわき市在住）



が認定されました。

遠藤さんは四八年の実績と卓越した技術を有する女性職人であり、接着剤などを一切使わない昔ながらの製作方法を守り続けています。

遠藤さんを含め、県内の「森の名手・名人」は二四名となりました。

○「森の名手・名人」認定までの手続き

- (1) 候補者の募集
県は、候補者を募集し、選定要件に該当して「森の名手・名人」としてふさわしいと思われる方について都道府県緑化推進委員会に推薦します。
- (2) 都道府県緑化推進委員会における選定



都道府県緑化推進委員会が推薦者を選定し、全国選定委員会に推薦します。

(3) 最終選定

森の名手・名人全国選定委員会を開催し、都道府県緑化推進委員会からの推薦書に基づいて、最終選定を行います。

○高校生による「聞き書き甲子園」とは

(1) 趣 旨

都市化が進み多くの若者が自然との関わりを失う一方で、農村漁村では過疎化・高齢化が進み、農林漁業活動が低迷する今日、先人から受け継がれてきた知恵や生活技術も失われようとしています。私たちはそのようなすばらしいものを次世代へ引き継いでいかなければなりません。

こうしたことから、全国の高校生が「森の名手・名人」を訪ね、名手・名人の知恵や生活技術、ものの考え方や生き方を「聞き書き」という手法を用いて記録し、社会一般に広くアピールする機会を設けました。それが「聞き書き甲子園」です。

(2) 主 催

第十三回聞き書き甲子園実行委員会（農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、公益社団法人全国漁港漁場協会、全国水面漁業協同組合連合会、認定NPO法人共存の森ネットワーク）

(3) 募集要領

① 参加資格
高等学校等に在籍する生徒

② 取材先
「森の名手・名人」もしくは「海・川の名人」を選択

③ 募集定員
「森の名手・名人」への聞き書き 八〇名
「海・川の名人」への聞き書き 二〇名

④ 参加費用
無料（次の費用について、実行委員会が負担します）

ア「事前研修」：研修場所（東京）までの往復旅費、研修期間中の宿泊費

イ「聞き書き取材」：聞き書き実施場所までの往復旅費（二回分）

ウ「フォーラム」：参加者のフォーラム開催場所（東京）までの往復旅費、宿泊費

※ 先生の引率、保護者の同伴がある場合は各自負担になります。

⑤ 応募方法
参加希望者は、所定の申込用紙に必要事項を記入し、参加希望動機を書いた作文（原稿用紙一枚（四〇〇字）程度）を提出。

（注）本年度の応募は締切りとなっております。

※ 詳しくは聞き書き甲子園実行委員会ホームページをご覧ください。

※ 詳しくは聞き書き甲子園実行委員会ホームページをご覧ください。

会津産木材の利活用推進への取り組み

■会津農林事務所

林業普及指導員 菊池 徹

当管内の市町村では学校教育等の現場においても木材の利活用に積極的に取り組んでおり、会津産木材の利用推進に大きく寄与しているところです。

なかでも会津坂下町は、ここ数年、公共施設の木造・木質化に力を入れており、当事務所木材担当普及指導員が事業実施への指導・助言、建築業者及び製材業者との連絡調整等に大きく関わってきました。会津坂下町における木材利用の事例としては、森林環境交付金事業（地域提案重点枠）を活用した町立中学校屋内運動場の内外装木質化（H23）、町立幼稚園園舎の木造化（H24）、地域振興センターの木造化や木製品の導入（H25）があり、今年5月には森林整備加速化・林業再生基金事業を活用した集会施設「八幡コミュニティセンター」が完成したところです。これ以前にも地元産木材をふんだんに使用して、中学校体育館や小学校校舎の内装木質化などに取り組んできており、その結果、教育環境の向上が図られ、地域コミュニティの中心的施設になることが期待されるということです。

このほかにも、県立会津農林高等学校（以下、会農）へ働きかけて、平成24～25年度の2年間、猪苗代町に所在する昭和の森に、『新「ほっと」スペース創出事業』を活用して、木製テーブル及びベンチの設置を行いました。

平成24年度には、生徒にテーブル・ベンチのデザイン及び製図を依頼し、提案を受けたデザインの中から、担当教諭、木材を納品する会津木材協同組合、普及指導員による選考会を行い1つを選びました。会農には製材機械がないことから、大きな材の製材は普及指導員を通じ会津木材協同組合に依頼しましたが、それ以外の加工及び組み立ては生徒が行い、設置の際も学校のトラックにテーブル等を生徒自らが積み込み、昭和の森まで学校バスで移動後、担当教諭、生徒、普及指導員のほか当所職員総勢20名で設置を行いました。このときは野外での作業のため、途中からは猛吹雪の中での作業となりましたが、製作の過程に関わることで生徒の木製品に対する理解が深まり、とても有意義な体験になったと思われまます。

平成25年度には、同じく会農生に木製ベンチとテーブルの製作から設置まで行っていただきましたが、前年とは違い屋内休憩所内への設置であったため、終始和やかに行うことができました。

森林は育てる時期から伐って使う時期になってきております。木材利用促進法も施行され、今後ますますの木材需要が期待されるということです。今後とも会津産木材を積極的に使用することにより、地域の森林整備と林業振興が図られるよう普及活動をしていきたいと思っております。



ほっとスペース設置中（H24）



ほっとスペース設置中（H25）

8月のお知らせ

◇みどりの少年団国際交流集会

期 日 8月4日(月)
場 所 西郷村「那須甲子少年自然の家」

お問い合わせ先
公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会
(TEL: 024-521-3245)

◇ふくしま緑の写真コンクール

応募内容 1. 応募資格 県内の居住者とし、作品は自作に限る。ただし職業写真家は除く。
2. 作 品 カラープリント(デジタルカメラでの撮影も含む)四ツ切りサイズの一枚写真(ワイドも可)。スライドや組み写真は除く。
3. 締め切り 平成26年10月24日(金)必着

表彰	特選…1点 賞状、盾、賞金3万円	銅賞…6点 賞状、盾、賞金5千円
	金賞…5点 賞状、盾、賞金2万円	入選…30点 賞状、盾
	銀賞…6点 賞状、盾、賞金1万円	佳作…数点 賞状、記念品

審 査 11月上旬に審査、12月中旬に表彰式。
お問い合わせ先 公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会 (TEL: 024-521-3245)

磐城森林管理署メモ

いわき海岸林 復興始動

磐城森林管理署を出てすぐ前の県道を南に向かうと、道路は帯状のクロマツ等の林の中を進むようになります。「いわき海岸自然休養林」です。磐城署の海岸林というと、まずは福島県北部の松川浦を思い浮かべるでしょうが、いわき市北部の海岸沿い一〇キロほどに渡って国有林と私有林からなる緑の帯が続きます。以前は、海沿いの爽快なドライブコースとして、またキャンプ場、ユースホステル、海浜公園などの施設も整備され、海水浴等に訪れる皆さんに、白砂青松の美しい景色を提供してきたのですが、ここも三年前の震災等で大きな被害を受けた地域となっています。

管理署から目と鼻の先ということもあり、署員も通行の度に気になるところでしたが、松川浦海岸林のように林帯ごと消失するといった壊滅



津波とマツクイムシに痛められた海岸林
穴が空いたように立ち枯れたマツが続きます



一足先にはじまった市民活動も
継続的な取組として定着へ

的な被害には至らなかったことから、復旧事業の優先度は少し後にせざるを得ませんでした。

それでも会議の席などで、地元の方から「自宅が海岸林の裏手にあったのだが、おかげで家も命も失わずに済んでありがたかった。是非また立派な防災林に復旧してほしい。」と



磐城森林管理署

たいへんうれしく励みになる言葉をいただく、一方で冷や汗の出るような心持ちでしたが、いよいよこの平成二六年から本格的な復興事業の取組が始まります。

林帯が残ったとはいえないものの林は満身創痍で、海水やマツクイムシによる立ち枯れ木がそこに固まっている状況。これまでの調査では一万五、〇〇〇本を超す被害木が確認されました。これらの枯死木を一旦全て伐採処理し、できた空地のヤブ・ツルを除去しながら抵抗性クロマツのコンテナ苗の植栽を五、〇〇〇本／畝の密度で行う予定としています。

また、この海岸林はその起源が江戸時代まで遡る歴史を持っているた

め、海岸林の内陸側には自然植生である広葉樹が生育し、林帯の一部を構成しています。今回の整備では現存植生はできる限りそのまま育成することを基本とし、新たに盛り土などの植生基盤は作らずに、例えば、藪状になった広葉樹帯は整理伐等を行って、自然植生の育成にも取り組むこととしています。全対象地約八〇〇畝の整備には八年程度の期間を要する見通しです。

さらにこうした治山・造林事業に加え、当海岸林には頼もしい支援者の方々が多数名のりを上げてくださっています。「いわき青年林業会議所」そして「いわきの森を守る会」の皆さんは、震災後、ただちに海岸林の再生活動に取り組んでくださり、地域の子供たちや広く県外のボランティア団体とも連携、市民レベルでの海岸林造成の動きを広めてくださっています。

災害を契機として、強く防災機能の発揮を期待されるようになった「いわき海岸林」ですが、それらにしっかりと応えられる森林作りを進めるとともに、合わせて地域の関係者の皆さんとともに海岸林を守り育てる、という行動作りにも取組みながら、海岸林復興に取り組んでいく考えです。

CLTの現状と課題、今後の展望について

福島県林業振興課

1 はじめに

昨年来、読者の皆様の多くが「CLT」という言葉を耳にしていると思います。CLTとは、Cross Laminated Timberの略称で、ひき板を並べた層を、板の方向が層ごとに直交するように重ねて接着した大判のパネル、及びそれを用いた建築工法を示します。海外での革新的な使用事例などの影響もあり、CLTは林業の成長産業化を牽引するものとして多くの注目を集めています。CLTをより多くの皆様に知っていただくため、本稿ではCLTの基礎的な情報についてご紹介いたします。

2 CLT利用の現状

CLTの開発は、一九九〇年代中頃からオーストリアを中心としたヨーロッパで進められ、戸建て住宅はもちろん、九階建ての集合住宅や大規模なショッピングモールなどに利用されてきました。北米でも複数のメーカーがCLTの製造に着手するなど、世界的な広がりを見せています。C

L Tのメリットは、寸法安定性の向上、強度異方性の改善、高耐力・高剛性、施工性の向上にあるとされ、これが利用拡大の大きな要因とされています。一九九五年当時の欧州での年間生産量は約二万立方メートルでしたが、現在は約五〇万立方メートルまで急増しており、今後も更なる需要が見込まれています。

こうした動きを受け、日本でも本格活用に向けた検討が急ピッチで進み、本年一月に「直交集成板」としてJAS規格が施行され、登録事務機関による認定を経ればJAS製品として流通させることが可能になりました。三月には全国で初めてCLTを構造部材として使用した建築物(三階建ての共同住宅)が高知県に完成しました。地組みしてから二日間建て方が行なわれるなど、大幅な工期短縮が図られたようで、CLTへの関心は大いに高まっています。

3 CLT利用の課題

とはいえ、国内でCLTを主要構造として利用するにはいくつかの課

題があります。例えば、CLTを利用するために必要な強度や設計方法に関する基準が未だ整備されておらず、構造用材料として扱う場合は、国土交通大臣による特別の認定を取得しなければなりません。つまり、従来工法に比べて、特に設計段階における手間や費用が大きな負担になっていきます。加えて、生産コストの問題があります。国内では需要量が少なく、しかも製造工場が限られていることから、部材の価格が通常の集成材に比べて高価であると言われています。法規制の早期整備、CLTの需要拡大が強く求められています。

4 今後の展望

CLT利用の取り組みは緒に就いたばかりで、課題は山積しています。しかし、JAS規格の制定が異例のスピードで実現し、オリンピック等関連施設にまでCLTを使おうとする活動が展開されるなど、CLT利用の機運は益々高まっています。多

少の課題はあるにしても、他者に先んじて技術や知見を積み重ね、法規制が整った段階ではCLT利用の体制が整っている。このような環境づくりに今から取り組むことが、本県の復興・再生につながるものと思わ



厚みのあるCLTパネル

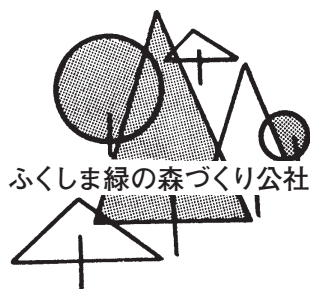


ロンドンで建築された9階建ての集合住宅 (林野庁提供)

れます。県では今年度からCLTの実証・展示事業を実施しています。現在、県内の事業者がモデル住宅の設計に取り組んでおり、本年秋にはCLTに加工された県産材が建設予定地である湯川村に届けられ、工事が始まる予定です。完成すれば東日本では初めてのCLTによる建築物になります。現地での構造見学会も予定されており、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

公社だより

第1回
定時社員総会
開催される



去る六月五日（木）、福島市「杉妻会館」において、ふくしま緑の森づくり公社の第一回定時社員総会が開催されました。まず、村田文雄理事長より、「本年四月一日から公益社団法人へ移行し、「ふくしま緑の森づくり公社」として新たな一歩を踏み出したところであり、また、本県の森林再生に先導的な役割を果たすよう、役員一丸となって全力で取り組んでまいります。」とあいさつがありました。

また、来賓を代表して、日本政策金融公庫仙台支店農林水産事業統括の長瀬勝彦様からごあいさつをいただき、古殿町の岡部光徳町長を議長に選出して議事に入り、平成二五年度の事業報告及び決算の承認、平成二六年度の賦課金の徴収、役員（理事）の選任など合計五議案について

審議され、原案どおり承認されました。

平成二五年度においては、木材需要の低迷や木材価格の下落が続く厳しい状況に加え、東京電力福島第一原子力発電所の事故により、一部の造林地において施業を計画できないなどの影響が残っているものの、「改訂」第二期改善計画後期分期計画の目標達成に向け、計画的・効率的な執行に努めて、一定量の事業を行うとともに、経費削減に努めたこと等により、次期繰越収支差は実質的に約五、〇一〇万円となりました。

平成二六年度は、約三億四、三〇〇万円の分収造林

事業を実施することとし、そのうち保育事業については、間伐を中心に九〇〇鈴の森林を整備する他、一万二、八〇〇鈴の作業路開設・補修を実施することとしております。

また、本総会においては、「改訂」第二次改善計画の後継となる新たな経営改善計画（緑の森づくり新生プラン）が報告されました。

新たな経営改善計画（緑の森づくり新生プラン）は、これまでの経営改善の取組みと課題等を踏まえ、今後の公社の中期的な施策の基本的方向を明らかにするとともに、今後五

年間に重点的に取り組む事項を定めたものであります。

当公社としましては、林業関係団体等との連携を図りながら、当該計画に基づき、本年度からスタートさせた経営改善計画（緑の森づくり新生プラン）を着実に実行し、経営改革を全力で推進し経営基盤の安定に努めるとともに、森林整備を通じて森林資源の培養と森林の有する公益的機能の増進に全力で取り組んでまいりますので、今後とも御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



村田理事長あいさつ



総会様子



素材の価格〈工場着価格〉(4月15日現在)

(単位: m³当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9(8~10)	0	(0~0)	0	10(10~10)	1	9(8~10)	0
		10~13				14(11~15)	0	8(8~8)	△1	12(10~13)	1	12(8~15)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	14(12~15)	0	10(10~10)	△2	13(13~13)	0	13(10~15)	0
						6.00	並	スギ	18(16~20)	△1	8(8~8)	0	18(18~18)
		20~28	4.00	並	スギ				14(12~15)	△1	12(12~12)	△1	14(14~14)
						1.80	並	アカマツ	11(9~12)	△1	(0~0)	0	11(10~12)
	外	30以上	10.00	並	米ツガ				(0~0)	0	(0~0)	0	30(26~34)
						北洋材	28以下	3.80	並	エゾマツ	(0~0)	0	(0~0)
	南洋材	70~90	8~14	並	ラワン						(0~0)	0	(0~0)
						パルプ用材	-	-	並	マツ	(0~0)	0	(0~0)
-	-	並	広葉樹	(0~0)	0						(0~0)	0	5(5~5)

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)		8(6~9)	0
	13~14				(0~0)		8(7~8)	0
	16以上				(0~0)		9(8~10)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、*印は前月実績がなかったことを示す。
 2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均的価格を示す。
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。

三月の原木市場への入荷状況は、前月比一〇割減(前年比一割減)の二五、九九七立方メートルとなっている。
 販売量については、前月比二三割減(前年比一割減)の二五、二二九立方メートルとなっている。
 四月の価格については、小じっかりした需要に支えられおおむね保合いとなっている。



あの「B-1グランプリ」が郡山市で!

あの「B-1グランプリ」が平成二六年十月十八、十九日の両日に郡山市の開成山公園をメイン会場に「B-1グランプリin郡山」(正式大会名: 第九回ご当地グルメでまちおこしの祭典! B-1グランプリin郡山)として開催されます。今大会は、「東北・福島応援特別大会」と位置付け、震災の風化防止と風評払拭を図るとともに、郡山市をはじめとする福島県の魅力も全国に発信するとされています。

浪江町の「浪江焼麺太国」がワールドグランプリを受賞した昨年の愛知県豊川市大会の来場者は、なんと二日間で延べ五八万人!(だいたい福島市民全員が二日間訪れたことになります。)国内最大級のまちおこしイベントとなっています。

食欲の秋! おなか周りなど気にせずに、食通を自認される皆様は、いざ「B-1グランプリin郡山」へ!!

当日は、全国各地から約六〇の「まちおこし団体」が集結し、来場者は、各団体から提供される各地自慢のご当地グルメのおいしさはもちろんのこと、地域をPRするパフォーマンスや「おもてなし」の対応などを総合的に評価して投票し、三位までの受賞団体が決まります。

主催者(B-1グランプリin郡山実行委員会、ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会)では、期間中は市内で農業・観光物産展や商店街と連携したイベント等を開催し、にぎわいづくりを図ることとしています。

浪江町の「浪江焼麺太国」がワールドグランプリを受賞した昨年の愛知県豊川市大会の来場者は、なんと二日間で延べ五八万人!(だいたい福島市民全員が二日間訪れたことになります。)国内最大級のまちおこしイベントとなっています。

県中農林事務所森林林業部 林業課 長 丹治信博



表紙の写真



「運 搬」

第10回ふくしま森林・林業写真コンクールで佳作を受賞した金子紀美子さん(本宮市)の作品。

はなしの
ひろば

汗

大学三年の時、北海道での農場実習を前に学長が「農学部の子は、冬は北海道で、夏は九州で実習をしない」と言われた。もう数十年前の七月のことであるが、何をたどって言われたのかわからないまま卒業を迎えた。その後、七月になる度にあの話を思い出すが、謎は解けず、むしろ深まるばかりだった。

その後時は過ぎ、息子も小学校三年生になった。その時の作文に「僕は、一年生から剣道を習っています。夏はとても暑いですが、いつも裸足なので、冬はとても寒いですが。でもたくさん汗をかくので不思議と夏は涼しく冬は温かくなります。稽古に励んで全国大会を目指しています。」と書いていた。

それを読んだ時、あの話の謎が解けた瞬間だった。「汗をかいて身をもって学びなさい」というたとえだったのでないか。目から鱗が落ちる、とはよくいったものだ。数十年の鱗だからとても厚かったに違いないが、あの瞬間に感じた梅雨あけの眩しさは今でも身をもって鮮明に覚えている。

あの当時の息子は、夢叶って全国大会に出場したが、初戦敗退をした。しかし、日本武道館に響いた少年少女達の気合いと滴り落ちる汗にどれほど感動したことだろう。

そろそろ福島の暑い夏が始まる。「汗」をかいたら自然にまかせてみたい。自分の五感が丸ごと「夏」になるだろう。身をもって学ぶということは「五感をいつまでも錆びさせるな」そういうことなのかも知れない。(都)

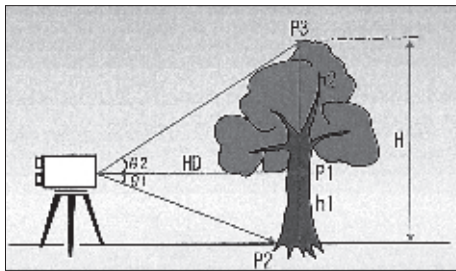
編集

発行

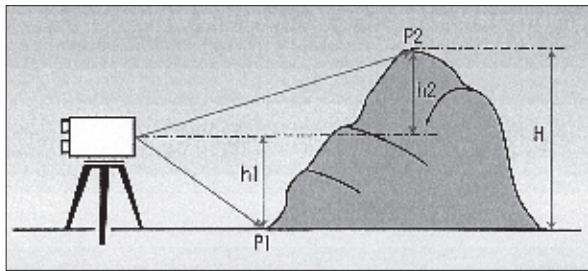
編集 福島県内四森林管理署
 福島県森林・林業・緑化協会
 福島県森林組合連合会
 福島県木材協同組合連合会
 福島県農林種苗農業協同組合
 ふくしま緑の森づくり公社
 森林総合研究所福島水源林整備事務所
 福島県森林・林業・緑化協会
 (福島市中町五番一八号県林業会館内)
 発行 相馬 雅俊
 陽光社印刷株式会社
 (定価 一〇八円)

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

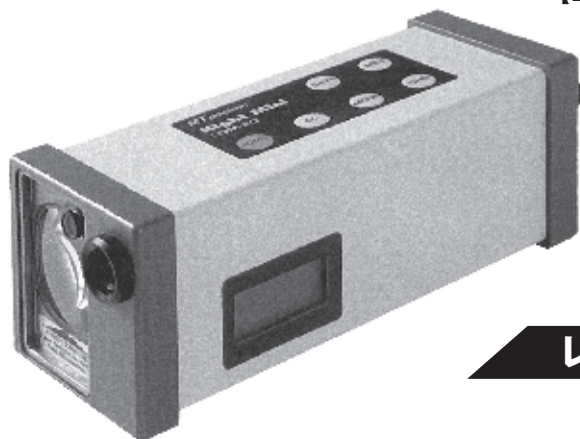


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測 距 範 囲	反射板 無30m 有300m
測 距 精 度	± 5 mm
傾斜センサー分析能	0.1
測 定 寸 法	高さ・水平距離・斜距離
重 量	W64・H64・D180
付 属 品	650 g
	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



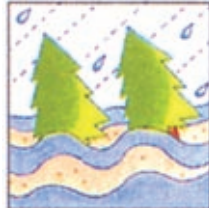
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



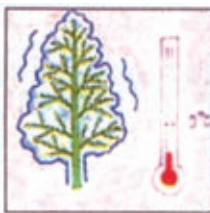
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 県内各森林組合
- ◆ 福島県森林組合連合会

又は 県庁森林保全課
TEL 024-521-7441

イワフジのプロセッサ

GP-45V グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追求したプロセッサ

- 高耐久性を追求したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor
MODEL : GP- 45V

イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



自然との調和

(私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。)
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

野生獣類から大切な植栽木を守る

ヤシマレント

蜂さされ防止

ハチノックL (巣退治)
ハチノックS (携帯用)

大切な日本の松を守る 住化グリーンの林業薬剤

ヤシマスミバイン乳剤
ヤシマスミバインMC
グリーンガードNEO
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートマイクロカプセル
マツグリーン液剤2
マッケンジー

くん蒸用生分解性シート

与作シート (茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリーバック使用)



住化グリーン株式会社

本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目5番4号 TEL.03-3523-8070 FAX.03-3523-8071
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室 TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

チッパシュレッダ

プロソー



竹もOK!
SR3000-2
出力 22.3kW (質量1,330kg)
水冷ディーゼル
X379301020
¥3,375,000(税抜)



GZ3900EZ
排気量 39.1cm³ (質量4.4kg)
RSP 21BPX 967159403 ¥108,000(税抜)
95VPX 967159303
HS 25AP 967159104
91VXL 967159204
HM 21BPX 967159404
95VPX 967159305



GZ4300EZ
排気量 43.1cm³ (質量4.4kg)
45cm(18")
RSP 21BPX 967160502 ¥133,700(税抜)
95VPX 967159902
HM 21BPX 967160504
95VPX 967159904

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店
(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1